

2015.8.30 Jim O' Rourke



プロフィール

<メンバー>

ジム・オルーク (Vo, G)

石橋英子 (Key)

須藤俊明 (B)

山本達久 (Dr)

波多野敦子 (vin)

ジム・オルークは、1969年、アイルランド人の両親のもとシカゴにて生まれたアメリカのミュージシャンです。十代でギター奏者デレク・ベイリーの音楽に魅せられ、ギターの即興演奏を始めました。大学では本格的に音楽を学ぶ一方、休みを利用してたびたびヨーロッパを訪れ、尊敬するミュージシャンのもとで演奏活動を行いながら、多くのアイデアを吸収し、数々の実験的な作品を発表するに至りました。

1994年にエクスペリメンタル・フォーク・ユニット、ガスター・デル・ソルに参加。1999年、世界的な人気を誇ったオルタナティブ・ロックバンド、ソニック・ユースにも参加し、ベース、ギター、シンセサイザー、そして、ミキシングまで手がけていました。さらに、この他のバンドにも在籍しており、縦横無尽に活躍していました。

ソロ作品では、1999年の『ユリイカ』が世界的に大きく注目され、2004年には、シカゴのバンド、ウィルコのアルバム『A Ghost is Born』のプロデュースを手がけ、グラミー2部門を受賞。ジム・オルークの名はジャンルを超えて知られるようになりました。

近年、東京に活動拠点を置き、くるり、カヒミ・カリィ、石橋英子など日本のアーティストの作品をプロデュース。また、武満徹作品『コロナ東京リアリゼーション』といった現代音楽作品を発表するなど多岐に渡って、クリエイティビティを発揮しています。

そして、2015年、自身のヴォーカル作品としては、じつに13年半ぶりとなる『Simple Songs』を発表したところです。

プレイリスト

01. Friends With benefits
02. Therefore I Am
03. Ghostship In a Storm
04. All Downhill From Here
05. There's Hell In Hello, But More in Goodbye
06. Hotel Blue